



Q 岡義博法律事務所報 第53号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階
 T E L (087) 821-1300
 F A X (087) 821-1833
 M A I L oka-law@kln.ne.jp
 H P <http://www.kln.ne.jp/oka-law/>

A I

A I。人工知能と訳される。人間がコンピューターに知能を与えたものである。

囲碁の世界では、昨年世界トップクラスと言われる韓国人棋士がA Iに敗れた。今年、世界最強と言われる中国人棋士もA Iに敗れた。世界中に衝撃が走ったのは当然である。将棋の世界でも名人がA Iに完敗している。囲碁は将棋やチェスと比べて局面が展開するパターンが桁違いに多い。無限ともいえる局面の展開が考えられる。コンピューターが人間を超えるのは難しいと言われていたが、A Iはあっという間に人間を超えてしまった。

A Iが進化したのは「深層学習」という技術を身に付けたからと言われている。「深層学習」とは自ら学習し、判断する力をつけるというものである。膨大な数の棋譜を入力し記憶させる。その中で、有利な局面を導く手はどれかを自ら判断していく。数千万という数の棋譜を入力していると聞く。将棋でも1兆回を超える深層学習をしているとも聞く。A Iは日々休みなしに学習を繰り返している。有利な局面を判断する能力は上がる一方である。もはや人間は囲碁、将棋の世界ではA I

所長弁護士 岡 義博

を超えることはできなくなっている。

このように物事を判断するという役割までコンピューターがやり始めると、人間でなければできない仕事はなくなってしまうのではないか。サービス業などは顧客の好みや趣味、嗜好、気分などという数値化できないような要素を複合的に判断して、顧客にアプローチし、物品の購入などをもらうものである。それでも、膨大な量の情報を入力し、多数回にわたる接客を続けていけば、顧客の好みを正確に判断できる日は来るであろう。その日は遠くないと思われる。そうすると、人間の仕事はコンピュータにとられてしまうのであるか。

仕事をとられるどころか、A Iが人類の敵になるのではないかとの指摘をする人もいる。世界中のあらゆる分野の情報を全て入力したコンピューターができたとして、悪い奴が、このコンピューターに人類を滅亡させろとの指令を入力する。A Iは持っている全知識を駆使し、人類滅亡のためのあらゆる方策を考える。このA Iの行動を人類が止めることは出来るだろうか。



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス(Themis…ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します)を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、左手の剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

オンライン・ショッピングをする場合、操作ミスで注文してしまった場合はどうなるでしょうか。キャンセルはできるでしょうか。

操作ミスという場合考えられるのは、まず、画面を見ていて、注文するつもりはないのに間違って注文の画面をクリックしてしまった場合があります。また、A商品を買うつもりであったのに、間違って隣のB商品の所をクリックしてしまった場合があります。

これは、注文する意思がなかったり、異なる注文をする意思だった場合ですが、このような場合、民法の原則では、意思表示は錯誤で無効とされています(民法95条本文)。但し、意思を表示した者に重大な過失があった場合には、無効の主張はできないとされています(民法95条但書)。オンライン・ショッピングは買い物などをするサイトですから、間違ったクリックをすると注文になってしまうことは明らかなので、このような操作ミスは重大な過失に当たるといえます。従って、民法の原則によれば、無効の主張(キャンセル)はできないことになります。

しかし、パソコンを使っての注文というのは間違えやすいという面もあるので操作ミス

身近な法律シリーズ(53) オンライン・ショッピング②

でキャンセルできないというのも気の毒です。

そこで、電子契約法では、民法の原則を排除して前記のような操作ミスによる注文の場合、民法95条の適用を排除し無効の主張(キャンセル)ができるとされています(電子契約法3条本文)。

注意しなければならないのは、ここでの電子契約とは、業者が設定している画面の手順に従って注文する場合を言います。顧客が画面上で注文するのではなく、別途メールで注文を発する場合は、電子契約法の適用はありません。

業者側が、操作ミスによるキャンセルを防ぐ手立ても電子契約法は定めています。画面上に確認の画面を設置するという方策です。例えば、購入するという画面をクリックすると、次に購入でよろしいですかという画面が表れ、その確認の画面をクリックするというものです。ここで、もう1度購入等の意思を確認できるので、2度クリックすれば単なる操作ミスとはいえません。

そこで、確認措置が取られている場合には、民法95条の適用となり、キャンセルはできません(電子契約法3条但書)。



ちょっとひといき

札幌で単身赴任中の夫からのlineに「今日は、函館まで出張です。往復で9時間かかります。」と書かれてあった。はてな？9時間も掛かる？私が見間違えたかと見直したが、確かに書いてあった。夫の打ち間違えか？と思って夫に確認。「掛かるよ。札幌から函館までは遠いよ。家族旅行の時に列車で移動して凄く時間掛かったやろ。」と言われ、そうだったっけ？そう言えば、十数年前、移動時間が長くて息子が退屈していたっけ！

ネットで確認してみると、道外の人は、勘違いが多いが、札幌一函館間はついでに寄りますという距離では無い！とズバリと書かれている。私もその勘違いをしていたようだ。高速道路を利用すると311キロ、所要時間約4時間21分と

事務局

K・K

ある(情報により若干差があるが)。東京一名古屋間とほぼ同じ。北海道の面積は、九州地方+中国地方+四国地方(3県分)と同じくらい。日本一狭い香川県の約42倍。やっぱり北海道はデッカイ道だった！

30数年前？学生旅行で福井から日本海フェリーで小樽へ、その後、北上して稚内から礼文島へ渡り、旭川や帯広を回った。広大な大地や礼文島の岩肌の緑と海の青さが目に焼き付いている。

4月に夫の引越目的で北海道へ行ったが、本当に引越オンリー。食事は贅沢にあれこれ食べたのだが、私が最も感動したのは、帰りに千歳空港で買ったおにぎり弁当。中に鮭ハラスや蟹が入っていて、鮭のルイベが添えてあった。これは感動の味！また行きたい！

八十八ヶ所巡り

その17

今回は73番出釈迦寺(しゅっしゃかじ)。寺の背後にある我拝師山(481m)が山号となっています。境内は狭くコンパクトにまとまっています。

7歳の時、弘法大師(幼名真魚)は、仏道に入り、人々を救済しようと決意しました。そして、我拝師山の山頂に上り、「この願いが叶うなら釈迦如来よ現れたまえ、叶わぬのなら仏に命を捧げます」と言い、谷底へ身を投げたといいます。すると、たちまち釈迦如来と天女が舞い降り、真魚の身体を抱き止めたという伝承があります。釈迦如来は「一生成仏」と言われたとのことです。



そこで、この寺は出釈迦寺の名が付けられたわけです。身を投げた場所は「捨身ヶ嶽禪定」といわれ、そこに出釈迦寺の奥の院があります。

大師は青年の折に、この寺を再び訪れ、虚空蔵求聞持法を修行したとされます。その後、また寺を訪れ釈迦如来を彫り、これを祭って出釈迦寺を開いたと言われています。

そこで、この寺の正式名称は、我拝師山 求聞持院 出釈迦寺となります。



釈迦出する山 遙拝す 秋の昼

(Y・O)

高松ウォッチング

私は、若者に負けじと、スマホのLINEで友達とつながっている。ハートマークやスタンプが可愛い(うれしげに)。

ある時、知り合いから突然LINEがきた。

A子「元気~? 何してる?」

私 「どうしたの?」

A子「携帯が壊れたの。番号を教えて?」

私は疑いもなく「いいよ~」とすぐ携帯番号を教えた。すると、A子「メールで4ケタの数字が届くから教えてね~」。

私「??？」

メールを見ると、確かに4ケタの数字が届いている。どういう事?

娘に聞いてみると「えーママ、電話番号教えたの!?!?」と驚かれた。これは乗っ取り詐欺の一種。電話番号と4ケタの数字(暗証番号)が揃う

事務局 E・O

と他人がアカウントを乗っ取ってしまうらしい。

「こんな手に引っかかる人がいるんだな~。と思ってたけどまさかこんな身近にいるとは」と呆れられた。

もう真っ青。あわててauの会社にすっ飛んで行った。幸い暗証番号は教えていないので問題なかったが、危うく私のデータが乗っ取られるところだった。

翌日、別の人からメールが届く。またまた、何の疑いもなく返信。

すると「僕は芸能関係の仕事をしています。メル友になりませんか?」

娘「こんなおばさんをメル友にしてどうするねん」

主人「学習能力のないやつ」

トホホ~。

外部の方からの投稿です

O que sera, sera, sera ↗なるようになる♪

事務局 M・K

突然ですが、私は料理がとても苦手です。そもそも作る事があまり好きではないし、作ったものも美味しい…という悪循環。しかし結婚を機に『そうも言ってられないな…』と重い腰を上げたのです。

調べてみると、料理下手な人の原因は大体共通しているようです。

①味見をしない②レシピにアレンジをする③面倒くさがって正確に計らない④下ごしらえをしない 等々。

まずい！どれもこれも心当たりがある！！

例えば『大きじ1』を「まあ大体これくらいかな」と少し多めに入っても気になかったり、○○がないから△△で代用しよう、と勝手にアレンジしてみたり。(ベテランの主婦の方々には問題なくとも、超初心者の私には致命的ミスに繋がります)。

ということで、それらの問題点を改善してみたところ、少しあはマシなものが作れるようになってきました。とはいっても「やった、大成功だ!!」と思える一品に出会える確率は1割程度。まだまだ修行が必要です。